

日本語教育能力検定試験（過去問）

試験 I

問題 1 次の(1)～(15)について、【 】内に示した観点から見て、他と性質の異なるものを、それぞれ 1～5 の中から一つずつ選べ。

平成 27 年

(8) 【「(ら) れる」の用法】

- 1 頑固そうだけど、意外に話せる部長だ。
- 2 腹を割って話せる友人が欲しい。
- 3 英語が話せる社員を一人雇いたい。
- 4 課長の欠点は、いくらでも話せる。
- 5 この内容なら、10分もあれば話せる。

(12) 【逆接条件の表現】

- 1 皆に反対されたとしても、私はやるつもりだ。
- 2 どんなに着込んだにせよ、凍える寒さに違いない。
- 3 待ち合わせ場所に着いたのに、誰もいない。
- 4 誰に聞いたって、分かるわけがないよ。
- 5 たとえ走ったところで、間に合わないだろう。

平成 28 年

(5) 【連体詞】

- 1 このレストラン
- 2 あらゆる機会
- 3 いろんな花
- 4 わが人生
- 5 同じ本

(6) 【動詞の自他】

- 1 走る
- 2 渡る
- 3 通る
- 4 回る
- 5 移る

(8) 【形式名詞】

- 1 僕が知りたいのは彼が遅刻したわけだ。
- 2 いくら説明を聞いても分かるはずがない。
- 3 希望者が集中したために抽選となった。
- 4 彼が失敗したことは誰が見ても明らかだ。
- 5 先生が気づかないうちは大丈夫だ。

(10) 【「から」の用法】

- 1 かばんから落ちた財布を拾ってくれた。
- 2 名前を呼ばれた人から入ってください。
- 3 ここは駅から300mほど離れている。
- 4 東京から青森まで30日かけて歩いた。
- 5 珍しい写真が父のアルバムから出てきた。

平成 29 年

(7) 【活用】

- 1 閉^とじる
- 2 混^まじる
- 3 演^{えん}じる
- 4 論^{ろん}じる
- 5 感^{かん}じる

(8) 【助動詞の意味】

- 1 風立ちぬ
- 2 招かれざる客
- 3 転ばぬ先の杖^{つえ}
- 4 なきにしもあらず
- 5 見て見ぬふりをする

(13) 【副詞の呼応】

- 1 いまだ失恋の傷が癒えない。
- 2 なぜ人は、人を愛するのだろうか。
- 3 もし病気ならば、見舞いに行こう。
- 4 どうぞよろしくお伝えください。
- 5 あいにく彼は来ないみたいです。

(15) 【「って」の用法】

- 1 田中君が行くって伝言してくれよ。
- 2 さっき田中って人から電話があったよ。
- 3 漢字を10回ずつ書くって宿題が出された。
- 4 明日が試験だってこと忘れてないよね。
- 5 ここぞって時に活躍するのがエースだよね。

解答

平成 27 年	(8) 1	(12) 3
---------	-------	--------

平成 28 年	(5) 5	(6) 1	(8) 1	(10) 2
---------	-------	-------	-------	--------

平成 29 年	(7) 2	(8) 1	(13) 5	(15) 1
---------	-------	-------	--------	--------